

令和7年度環境省行政事業レビュー外部有識者会合

議事概要

1. 日 時：令和7年5月14日（水） 13：30 ～ 16：00
2. 開催方法：対面及びWEB会議
3. 有 識 者：

環境省選定外部有識者

いながき たかし
稲垣 隆司 岐阜薬科大学名誉教授

おく ま み
奥 真美 東京都立大学都市環境学部都市政策科学科教授

せき まさお
関 正雄 放送大学 客員教授
損害保険ジャパン株式会社カルチャー変革推進部 シニアアドバイザー

にいみ いくふみ
新美 育文 明治大学名誉教授

内閣官房行政改革推進本部事務局選定外部有識者

しまだ ゆ か
島田 由香 株式会社 YeeY 共同創業者/代表取締役

たきざわ み ほ
滝澤 美帆 学習院大学経済学部教授

ながひさ としお
永久 寿夫 名古屋商科大学経済学部教授

※ 株式会社 YeeY 共同創業者／代表取締役 島田 由香 委員は都合により欠席。

4. 議事次第：

- (1) 開会
- (2) 外部有識者紹介
- (3) 令和7年度行政事業レビュー公開プロセス対象事業の選定について
- (4) その他
- (5) 閉会

5. 議事概要：

○事務局より公開プロセス対象候補事業として、以下の6事業を提示。

- ・プラスチック資源循環等推進事業費
- ・国民公園等魅力向上推進事業
- ・放射線の健康管理・健康不安対策事業
- ・潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業
- ・イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業
- ・モビリティ大気汚染対策推進費

○外部有識者からの主なコメント

■プラスチック資源循環等推進事業費

- ・3R 推進事業について、リサイクルに力を入れる傾向を感じるが、リデュースもしっかりと取り組んで頂きたい。
- ・長期継続事業であり、真に政策目的に適っているかについて再評価する必要がある。

■国民公園等魅力向上推進事業

- ・KPI について、環境省としての大義名分が希薄ではないかと感じる。

■放射線の健康管理・健康不安対策事業

- ・住民の方などの不安解消のため、甲状腺検査の実施や周知も大変重要であり、引き続き継続して取り組んで頂きたい。
- ・予算規模が最も大きい事業であり、ロジックモデルの妥当性、事業目的に照らした事業内容・指標の妥当性など検討すべき余地が多分にあると考える。
- ・重要な事業であり、ロジックモデルの見直し等を実施し、より効果的な事業にしていく必要があると考える。
- ・リスク評価の多様性を鑑み、不安の解消のための方法論やアウトカムの設定をどうするかについて検討する必要があると考える。
- ・予算規模が大きい事業であり、全体の詳細な内容を議論すべきではないかと考える。

■潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業

- ・予算規模が大きい事業であり、クリアすべき課題が多く残されていると感じる。今年度が最終年度

ではあるものの、今後も後継事業が想定されるのであれば、今後の見通しや方向性も含めた説明が必要であると考える。

■イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業

- ・ビジネス化までの時間軸も含めての検討が必要であると考える。
- ・スタートアップ向け研究開発支援については、経産省等を含む他省庁でも実施されている認識であり、引き続き連携して取り組んで頂きたい。

■モビリティ大気汚染対策推進費

- ・自動車排ガスについては、人の健康に影響を与えるものであり、今後も本対策の必要性を説明・対応していく必要があると考える。

○とりまとめ

外部有識者による投票の結果、「プラスチック資源循環等推進事業費」 3 票、「国民公園等魅力向上推進事業」 1 票、「放射線の健康管理・健康不安対策事業」 6 票、「潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業」 2 票、「イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業」 1 票、「モビリティ大気汚染対策推進費」 1 票であった。

投票数の多かった「プラスチック資源循環等推進事業費」及び「放射線の健康管理・健康不安対策事業」の 2 事業を公開プロセスの対象事業とした。